

## 2025年6リカレント委員会オンラインセミナーご報告

日時	2025年6月21日(土)10時～12時00分 参加者40名(参加登録者含む) 形式 Webex	
テーマ	「偶然を味方にするキャリア形成」	
内容	1 参加者自己紹介 2 2025年次大会先行案内 3 ゲスト講演	4 Q&A 5 ふりかえり 6 その他
講演者	洪田 一夫 (しぶた かずお)氏 宮城大学キャリア・インターシップセンター長 宮城大学事業構想学群教授	
司会進行	渡邊明男 (一般社団法人 社会人基礎力協議会リカレント委員会委員長)	
年次大会 先行案内	渡邊リカレント委員長 2025年 年次大会についての先行ご案内 開催日時 2025年8月22日(金)15:00～18:30分予定 開催方法 Webex (オンライン) テーマ 「枠を超えて育成する社会人基礎力」 ターゲット 社会人基礎力協議会グランプリのエントリー候補大学関係者、社会人基礎力の研究者、リスキリングが必要な社会人、協賛候補の企業 コンセプト 前に踏み出す力(協議会)、人的資本経営に関する副業・兼業(経産省)、事例紹介 内容 基調講演、専門家講演、企業事例紹介、研究者発表、グランプリ事例等 以上のとおり開催する。皆様お誘い合わせのうえぜひご参加いただきたい。	
洪田氏 講演	講演 プロフィール 学生時代に宇宙放射計測、宇宙論、素粒子論について研究する。1990年より富士ゼロックス株式会社(現富士フィルムビジネスイノベーション株式会社)にてコミュニケーション研究に従事。その研究成果をもとに商品開発、マーケティングを担当。 2015年に東京工業大学(現東京科学大学)大学院にて技術経営修士(MOT)を取得後、新規事業開発を推進。2020年より関西学院大学感性価値創造インスティテュート特任教授 URA。2023年より宮城大学事業構想学群教授。宮城大学キャリア・インターシップセンター長。 ① 宮城大学キャリア・インターシップセンターの紹介 県立大学 3学群6学類、実学(実務)を教える大学。キャリア・インターシップセンターではキャリア開発、インターンシップを各学群の正規の教員が責任をもって教えている。 ② 偶然を味方にする ▶ 小学校から大学まで多種多様なアルバイトを経験 ほとんどが家族や友人から勧められ、誘われて職につく。決して自ら進んで従事していない。 ▶ 大学での研究 物理学を専攻(宇宙放射線計測)。三陸バルーンセンターで研究を重ねるが研究内容が主軸を離れつつあり研究者としてのキャリアを断念せざるを得なかった。→企業へ就職する。 ③ 広がるキャリア ▶ 企業との関わりが生んだ偶然 1年間の社内大学にて情報工学の専門知識を新たに学んだことがのちのキャリアに大きく影響する。その後デジタルカラー複写機部門に配属される。ここで突然自分がテームリーダーになる。研究内容はドキュメントのカラー化効果の検証とデザイン・ユーザビリティの評価。また、労働組合の役員も務め法務(労務人事制度設計)を勉強する。→会社の他部門の社員と繋がりができる。異動により営業部門に配属され経営を学ぶ。古物商許可申請など初め	

	<p>ての経験であったが半年から1年で異動を繰り返すことに疑問を持ち社会人大学院へ進学。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 社会人大学院(リカレント教育)へ進学 技術経営修士(MOT)取得。他業種や学生との交流から刺激を受け新たな人脈ができる。これまでの研究をまとめて博士号取得を目指す。教授指導により修士課程を履修し直す。結果として大変良かったと考える。これが後につながることになる。</li> <li>➤ 再び企業へもどるが、その後転職 社内公募で新規事業開発に携わり親会社への兼務出向となる。労組活動で知り合った社員が提案した新規事業を立ち上げる。 グループ企業の一事業会社となり研究部門、新規事業開発部門が縮小されたことに伴い早期退職する。</li> <li>➤ フリーランス時代 リサーチ会社からの調査請負、AIコンサルティング会社へデザイン思考を指導、大学発スタートアップ支援のメンターを務める。客員教授として大学へ。研究所時代の先輩、後輩、大学時代の知人等すべて人的ネットワークによる展開であった。</li> <li>➤ 再び雇用となる大学/アカデミアの道へ 感性価値創造インスティテュート特任教授へ。さらに別の大学から声がかかり教授となる。新たにイノベーションプラットフォームの構築を4つの大学と39の参画企業とともに進めている。他に大学発スタートアップ支援も行う。</li> </ul> <p>④ まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 幸運な偶然(セレンディピティ)を生むための行動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な価値観の人とのつながり      ・ 行動量を増やす</li> <li>・ 好奇心、積極的な姿勢              ・ チャレンジ精神</li> </ul> </li> <li>➤ 100年時代の人生戦略 今や新しい3つのステージが出現している。第一のステージはエクスプローラー(探検者)、第二のステージはインディペンデント・プロデューサー(独立生産者)、第三のステージはポートフォリオ・ワーカーである。決して自身で意図したことではないが、結果としてこのようなキャリアを歩むことになっているのではないかと考える。</li> </ul>
Q & A	<p>Q1: セレンディピティを学生に伝えるヒント、切り口があれば教えていただきたい。 A1: 少しずつの長期の積み重ね(小さい体験)が大事であると伝える。 Q2: 外部の人との付き合いはどのようにして広がったのか。損得か好奇心か。 A2: 好奇心以外の何物でもない。知人達が自分のやりたい仕事を紹介してくれている。 Q3: 社外でのネットワークの広げ方はどのようにしてきたか。 A3: いきなり場面は広がらない。急にリーダーになったとき困惑しなかった理由は、それまで多くの学会に参加していたから。それがまた新たな繋がりを生んでいる。 Q4: これまでの経験で後悔していることはあるか。その時点に戻りたいと思うときはあるか。 A4: 後悔したことはないが、もっと早く広げたかった。いろいろやる時間が足りない。</p>
ふりかえり(考察)	<p>越境をする組織としない組織には大きな違いがある。越境がすべての正解ではないが越境プログラムの有無には考え方、行動に違いが見受けられる。内製化された企業であっても組織の境は越えられる。社会人基礎力の「前に踏み出す力」を生み出すことが重要であると思われる。</p>
その他	<p>次回のご案内      日時    2025年8月22日(金) 15:00~18:30 年次大会</p>
ご参加のみなさま	<p>ご参加ありがとうございました。</p> 